

06.8.25

地域ニュース

谷
下車。

阪神西宮駅から阪神バスで「満池」
谷 下車。
被災した取水塔は翌年には元の形
に復元された。改修された堤防には、
震災復興記念の桜が植樹された。以
前のように桜の名所になるのは數十
年かかるだろう。

風呂に入れてもらった後、二人は池
に立ち寄り、たくさんのホタルを見
る。

しばらくして叔母の家を出て、池
のそばにある洞穴で兄妹二人の生活
を始める。栄養失調のため節子が亡
れられた。昭和初期に建てられた
放流が行われた。昭和初期に建てら
れた中池の取水塔も被害を受けた。
桜の名所として市民に親しまれた桜
並木も崩れ落ちた。

野坂昭如著「火垂るの墓」は、第
2次世界大戦中の西宮と神戸が舞
台。この小説に登場するホタルが舞
う池が「ニテコ池」(西宮市満池谷
町)だ。

小説では、神戸大空襲で焼け出さ
れた14歳の清太と4歳の妹節子が西
宮の叔母宅に疎開する。近所の家で
とかけ声をかけたことから、ニテコ



写真・文 山田哲也

□□□33

ニテコ池

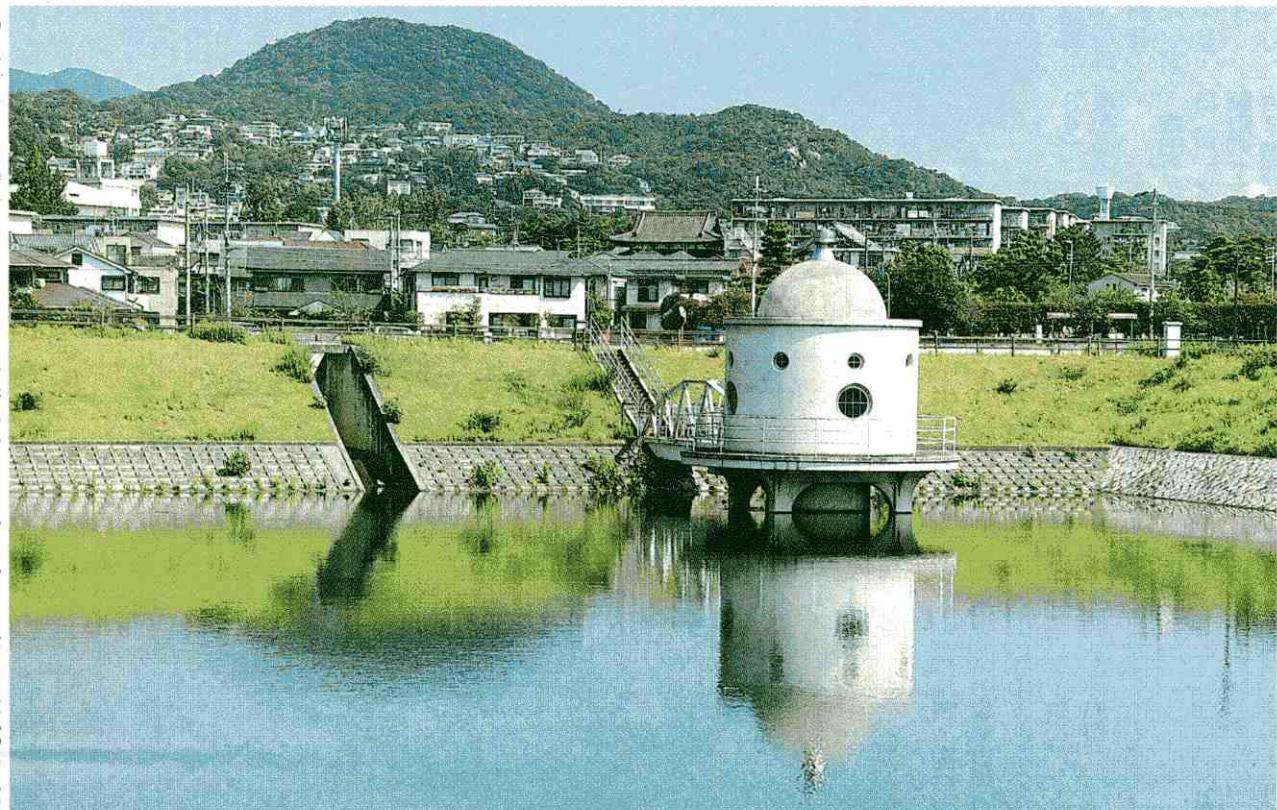
と呼ばれるようになったと言う。
同池は西宮市水道局の貯水池。阪
神・淡路大震災では甚大な被害を受
け、三つの池を区切る堤防が崩れた。
一番南側の池の堤防が決壊寸前にな
り、二次被害を食い止めるため緊急
放流が行われた。昭和初期に建てら
れた中池の取水塔も被害を受けた。以
前のように桜の名所になるのは數十
年かかるだろう。

くなり、清太も一ヶ月後に駅構内で
眠るように餓死する。

ニテコ池は満池谷墓地の南側に位
置し、南北に上池、中池、下池の三
つが並ぶ。「ニテコ」の由来は、西
宮神社の土壇に使う土をここから運
び出す時「ネッテコイ、ネッテコイ」
とかけ声をかけたことから、ニテコ

兄妹が見つめたホタル

「火垂るの墓」の舞台となったニテコ池だが、今はホタルを見ることができない。白い円筒形の建物が復元された中池の取水塔



白い円